

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち		
政策	1	生涯学習を通じて心豊かなうらおいと安らぎを感じるまちにします		
施策	1	生涯学習活動が活発なまちにします	担当部(統括部)	生涯学習部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿						
学んだ成果を社会に還元しようとする人が増え、多くの人の知識や技能が社会で生かされています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	生涯学習リーダーやコーディネーターの養成が始まっている	生涯学習リーダーやコーディネーターの活動機会が増えつつある	生涯学習リーダーやコーディネーターの活動機会が増えつつある	生涯学習リーダーやコーディネーターの活動機会が増えている	生涯学習リーダーやコーディネーターの活動機会が増え、学んだ知識や技術が各地域社会で生かされつつある	生涯学習リーダーやコーディネーターの活動機会が増え、学んだ知識や技術が各地域社会で生かされている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
子どもから高齢者まで積極的に学び続けています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	公民館や図書館などの各種講座で市民が学んでいる	子どもから高齢者まで「いつでも、どこでも、誰でも、自由に」学べる機会が整備されつつある	子どもから高齢者まで「いつでも、どこでも、誰でも、自由に」学べる機会が整備されつつある	子どもから高齢者まで「いつでも、どこでも、誰でも、自由に」学べる機会が整備されつつある	あらゆる世代の生涯学習機会が充実されつつある	あらゆる世代の生涯学習機会が充実されている
実績	目標の通りの姿を実現できた					
学習や活動をする拠点がより利用しやすくなり、多くの人に役立っています。						
	平成23年度	平成24年度	第3期実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
目標	施設の利便性が高まっている	誰もが使いやすい施設になりつつある	誰もが使いやすい施設になりつつある	誰もが使いやすい施設になりつつある	多様な学習ニーズに対応できる施設整備が図られつつある	多様な学習ニーズに対応できる施設整備が図られ、多くの利用者に役立っている
実績	目標の通りの姿を実現できた					

実現している姿を確認する指標											
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
生涯学習指導者の登録数	目標	—	—	—	—	21人	—	—	—	—	—
	実績	21人	20人	19人	18人	※指標の数値元となるリーダーバンク制度が平成22年度に廃止					
公民館講座等の延参加者数	目標	—	—	—	—	45,000人	46,000人	47,000人	48,000人	48,000人	50,000人
	実績	44,805人	48,338人	39,960人	44,600人	45,259人					
市民1人あたりの図書貸出冊数	目標	—	—	—	—	4.4冊	4.6冊	4.7冊	4.8冊	5.0冊	5.5冊
	実績	4.2冊	4.1冊	4.3冊	4.3冊	4.54冊					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎生涯学習リーダーの養成と活動機会の提供		平成25年度事業費計					
		1,008千円					
生涯学習リーダーやコーディネーターを養成し、活動機会を増やすとともに、その人材の活用を促進するため積極的に周知します。							
平成25年度事業 せつつ生涯学習大学事業986千円・生涯学習出前講座開催事業1千円・文化財啓発事業21千円(生涯学習課)							
		第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	生涯学習大学はまちづくり学部だけに絞り、人材を養成	新たな受講者の掘り起こしの検討	生涯学習大学のカリキュラムの再構築	生涯学習大学のカリキュラムの検証	大学・大学院の卒業生に対してまちづくり研究室への入会を促進し、活動機会を拡充	入会した会員の活用を広くPRし、活動機会を拡充	
取組実績	生涯学習大学の学部をまちづくり学部一本化した。						
成果	生涯学習大学の学部をまちづくり学部一本化することで、生涯学習コーディネーターの養成という目的が明確化した。						
次年度課題	生涯学習大学の受講者数が減少傾向であることから、広報の方法や内容について見直しが必要である。						

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	出前講座で生涯学習リーダー・コーディネーターの活動機会を拡充	各種出前講座で生涯学習大学まちづくり研究室の会員の活動機会を拡充	入会した会員の活用を広くPRし、活動機会を拡充
取組実績	出前講座[市民編]の講師募集について各種団体に働き掛けるなど積極的に周知を行った。					
成果	出前講座は平成22年度89講座から、平成23年度101講座と増加した。					
次年度課題	出前講座の[市民編]は[行政編]と比較し利用が少なく、講座内容の充実について検討が必要である。					
計画	ふるさと摂津案内人の会の活動機会を拡充	ふるさと摂津案内人の養成講座開催の検討	ふるさと摂津案内人の養成講座を開催	活動場所である、ふるさと摂津講座の充実	ふるさと摂津案内人の養成講座を検証	ふるさと摂津案内人の活動機会を拡充
取組実績	ふるさと摂津案内人と「ふるさと摂津講座」の講座数の増加について協議した。					
成果	ふるさと摂津講座開催日数が、平成22年度5日から平成23年度6日と増加した。					
次年度課題	ふるさと摂津案内人の講師が固定化されているため、講師の養成が必要である。					

◎市民と協働の生涯学習の推進	平成25年度事業費計 896千円
----------------	---------------------

市民主体の企画・運営により、生涯学習に関するイベントなどの事業を展開します。

	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
平成25年度事業	生涯学習まちづくり推進市民会議運営事業194千円・生涯学習フェスティバル開催事業702千円(生涯学習課)					
計画	他市における協働事業の事例研究	市民参画による市民主体の生涯学習イベントの事例研究	生涯学習推進市民会議等に市民参画を促進	生涯学習推進市民会議等に市民参画を促進	生涯学習リーダーやコーディネーターが主体となり、市民とともにイベントを企画	生涯学習リーダーやコーディネーターが主体となり、市民、行政とともにイベントを企画運営
取組実績	他市における協働事業の事例研究として、生涯学習合同研修会等を実施した。(1回実施)					
成果	市民及び市職員に対して「協働」に対する認識の共有を図ることができた。					
次年度課題	協働事業の事例研究については、他市事例を摂津市にどう取り入れるかを検討する必要がある。					
計画	行政・市民との「協働」による生涯学習フェスティバルの展開	行政・市民との「協働」による生涯学習フェスティバルの展開	行政・市民・学生との「協働」による生涯学習フェスティバルの展開	生涯学習フェスティバルの事業評価	生涯学習まちづくり市民会議で生涯学習フェスティバルの事業評価	生涯学習まちづくり市民会議で生涯学習フェスティバルの事業評価を行い、新たなイベント内容を展開
取組実績	行政・市民との「協働」による生涯学習フェスティバルを実施した。					
成果	生涯学習フェスティバル参加団体が、平成22年度36団体から、平成23年度43団体と増加した。					
次年度課題	生涯学習フェスティバルについては、内容や運営方法・市の関与等について見直しが必要である。					

○生涯学習機会の拡充		平成25年度事業費計				
		117,586千円				
公民館講座をはじめとする各種講座の充実や、学習ニーズに対応する多様な学習メニューの充実を図ります。また、子どもが読書に親しむことができる機会の充実を図ります。						
平成25年度事業	公民館講座開催事業4,289千円(生涯学習課)、図書館運営事業107,730千円(生涯学習課)、鳥飼図書センター運営事業5,566千円(生涯学習課)、生涯学習出前講座開催事業1千円(生涯学習課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	公民館講座をはじめとする各種講座の内容の充実	協働にむけた公民館運営について検討・実施していく	講座の数を精査し、社会教育施設として公民館が果たすべき役割について議論する	公民館が果たすべき役割に基づき講座内容の見直しをおこなっていく	潜在的な住民ニーズを発掘するための手法を検討する	各種講座の充実や、学習ニーズに対応する多様な学習メニューの実施
取組実績	公民館講座の他、生涯学習大学・出前講座・ふるさと摂津講座等、各種講座を実施した。					
成果	生涯学習機会の拡充を一定図ることができた。					
次年度課題	学習ニーズに対応した講座の開催について検討する必要がある。					
計画	子どもの読書活動に関する啓発、広報活動の推進	子どもの読書活動に関する啓発、広報活動の推進	市民図書館等で実施している本の読み聞かせ等の充実	読書活動に関わるさまざまな施設・団体・組織の連携により、子どもが読書に親しむ機会を充実	家庭、地域(図書館、公民館)、学校を通じた社会全体での読書活動の推進	家庭、地域(図書館、公民館)、学校を通じた社会全体での読書活動の推進
取組実績	子どもの読書活動に関しては、ママパパが教室において保健師より乳児期からの絵本とのかかわりを講話の中に取り入れるなど、「第2次摂津市子ども読書活動推進計画」に基づき推進事項を実施した。					
成果	絵本の読み聞かせの重要性を啓発など、読書活動の推進を図ることができた。					
次年度課題	読書活動について、関心の無い方への啓発・広報について検討する必要がある。					
計画	出前講座の充実	市民ニーズの研究	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催	市民のニーズや時代にあった講座の開催
取組実績	出前講座は、講座内容を見直し、市民が幅広く学習できるよう講座の充実を図った。					
成果	出前講座は平成22年度89講座から平成23年度101講座と増加した。					
次年度課題	出前講座(市民編)の利用が少ないため、講座内容の充実について検討が必要である。					

○生涯学習の情報提供の充実。	平成25年度事業費計
	537千円

生涯学習に関する情報を迅速に分かりやすく提供するため、市広報紙やホームページ内容を充実するほか、多様な手段で情報を発信します。

平成25年度事業	文化振興事業537千円(文化スポーツ課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	摂津市文化芸術・スポーツ情報誌(セツピイベントガイド)を活用した情報提供	摂津市文化芸術・スポーツ情報誌(セツピイベントガイド)を活用した情報提供	摂津市文化芸術・スポーツ情報誌(セツピイベントガイド)を活用した情報提供	摂津市文化芸術・スポーツ情報誌(セツピイベントガイド)を活用した情報提供	公民館、図書館、児童センター、保育所、小中学校、幼稚園等において生涯学習に関する情報を迅速に提供	各関係機関との連携を進め、情報発信の整備
取組実績	摂津市文化芸術・スポーツ情報誌(セツピイベントガイド)を1万部作成し、市内公共施設等で配布するなど情報提供を行った。					
成果	セツピイベントガイドにより、広報紙やホームページ以外の情報提供媒体として、市民がイベントについてより身近に感じることができた。					
次年度課題	広報紙・ホームページ以外(ツイッター・フェイスブック等)のソーシャルネットワークサービス等を活用した情報提供について検討する必要がある。					

○生涯学習施設の整備と利用促進	平成25年度事業費計
	75,467千円

施設のバリアフリー化を推進するとともに、多様な学習ニーズに対応できるよう施設を整備します。また、図書の利用を促進する仕組みを整備します。

平成25年度事業	公民館管理事業48,967千円・公民館施設改修事業16,464千円・図書館施設管理事業8,277千円・鳥飼図書センター施設管理事業1,759千円(生涯学習課)					
	第3期実施計画期間				前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画		千里丘・別府・新鳥飼公民館の耐震診断を実施	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設のバリアフリー・耐震化を順次推進	生涯学習施設を多様な学習ニーズに対応できるよう順次整備
取組実績						
成果						
次年度課題						
計画	祝日等、図書館閉館日の拡大	図書館内での本の読み聞かせ等の充実	図書館内で行うイベントの検証	図書館内で行うイベントの充実	公民館と連携し、図書利用促進のための環境を整備	関係機関と連携し、図書利用促進のための環境を整備
取組実績	民間のノウハウを活用するため、図書館に指定管理者制度を導入した。					
成果	祝日の開館等により、図書館の開館日は年間約50日増加、開館時間は2館で約1000時間増加した。					
次年度課題	図書館運営について、より民間ノウハウの活用が図れるよう検討、協議が必要である。					
計画	図書の借り受けに関して近隣市を含む広域連携の研究	図書の借り受けに関して近隣市を含む広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市を含む広域連携の検討	図書の借り受けに関して近隣市を含む広域連携の検討	図書の借り受けに関して大阪市や近隣市を含む広域連携の推進	図書の借り受けに関して広域連携の推進
取組実績	図書館広域連携について近隣市の現状など情報収集を行った。					
成果	図書館の広域連携について理解が深まった。					
次年度課題	広域連携については継続して検討する必要がある。					

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

せつつ生涯学習大学による人材育成						平成25年度事業費計 986千円
生涯学習の場を提供し、習得・向上した知識や技能を地域社会の活性化に生かすことができるリーダーやコーディネーターの養成を図ります。「大学」では出会い・学びを、さらに「大学院」では企画・立案、「研究室」では実践を目的としており、ここで学んだ人材の活用と活動機会の提供を進めます。						
平成25年度事業	せつつ生涯学習大学事業986千円(生涯学習課)					
		第3期実施計画期間			前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	まちづくり学部の一つに絞り、受講しやすいテーマに変更	受講者の増が見込める時間帯等の検討	受講者の増が見込める時間帯等の検討	幅広い世代が受講しやすい内容等の検討	幅広い世代の卒業生による「まちづくり研究室」が自主的に実施する活動を支援	幅広い世代の卒業生による「まちづくり研究室」が自主的に実施する活動を支援
取組実績	生涯学習大学の学部をまちづくり学部一本化した。					
成果	生涯学習大学の学部をまちづくり学部一本化し、受講しやすいテーマに変更したことで、生涯学習コーディネータの養成という目的が明確化した。					
次年度課題	生涯学習大学の受講者数が減少傾向であることから、広報の方法や内容について見直しが必要である。					

生涯学習フェスティバルの充実						平成25年度事業費計 702千円
市民が中心となった実行委員会によるイベントとして充実を図ります。						
平成25年度事業	生涯学習フェスティバル開催事業702千円(生涯学習課)					
		第3期実施計画期間			前期終了年度	後期終了年度
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
計画	まちづくり研究室が実行委員会の主体となり行政とともにイベントを開催	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実	市民中心の実行委員会組織となり、生涯学習フェスティバル等のイベントにおいて、参加者が毎年増加するようイベント内容等を充実
取組実績	各種団体へ生涯学習フェスティバルへの参加について積極的に周知を図った。					
成果	生涯学習フェスティバル参加団体は、平成22年度36団体から平成23年度43団体と増加した。					
次年度課題	生涯学習フェスティバルについては、内容や運営方法・市の関与等について見直しが必要である。					